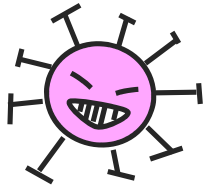




# 感染症に気をつけよう!!

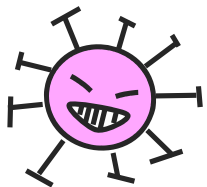


## 横浜市内 感染症 流行状況

2024年7月号  
横浜市衛生研究所



感染症	流行状況		説明 <small>【関連リンク】</small>
<u>新型コロナウイルス感染症</u>	 流行	 増加	5月以降増加傾向、流行の程度は前年とほぼ同様
<u>手足口病</u>	 流行	 増加	例年より早い時期から報告数増加、7月初めに流行警報域に到達 <small>【臨時情報】</small>
<u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>	 流行	 横ばい	年始からほぼ一定の水準で推移、コロナ前の流行パターンに近づきつつある
<u>梅毒</u>	(全数報告)	 増加	20～50歳代が中心だがあらゆる年代で報告あり <small>【政府広報 動画】【無料・匿名検査】</small>



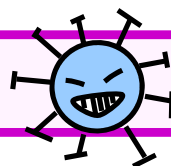
## この他にも……

伝染性紅斑(リンゴ病)やヘルパンギーナなどが増えてきています。

<参考HP> [厚生労働省](#) [国立感染症研究所](#)



# 今、気をつけたい感染症

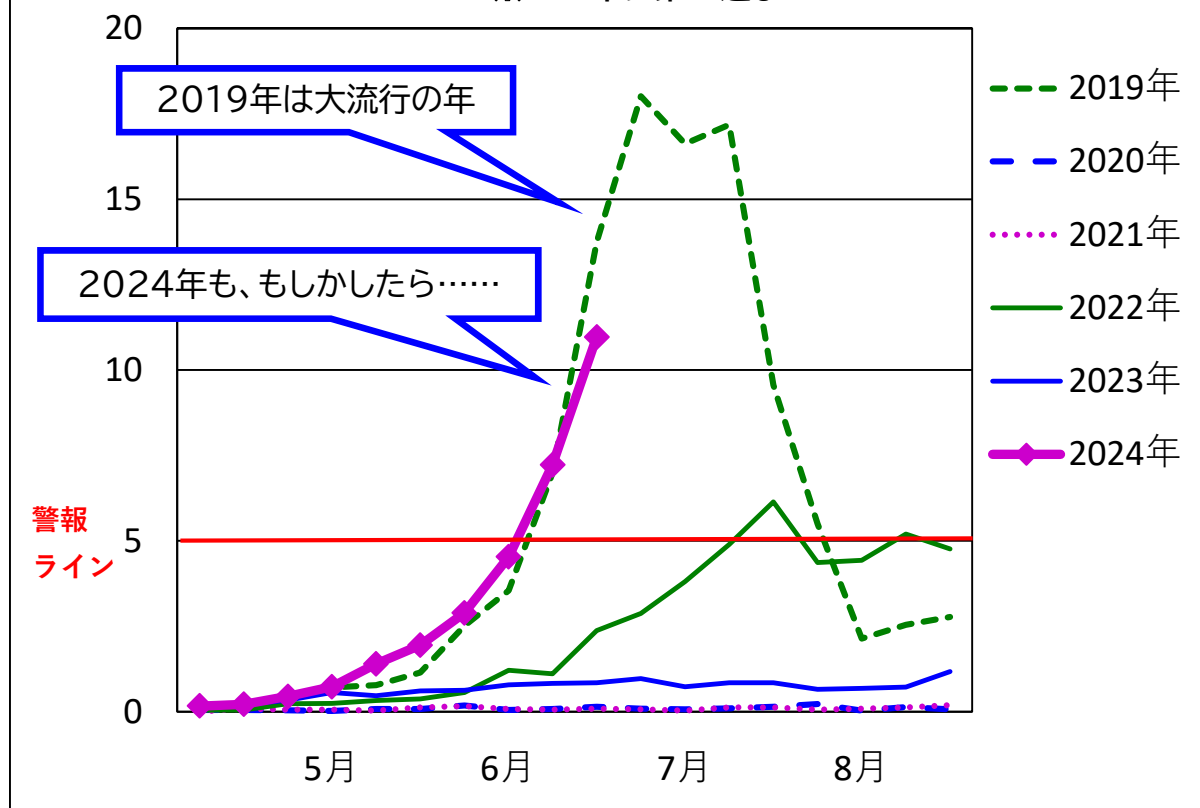


# 手足口病

● 今年も手足口病が全国的に流行。  
横浜市も7月に警報発令！

## 手足口病（2019～2024年、5～8月）

※2024年は第27週まで



2019年は大流行の年

2024年も、もしかしたら……

警報  
ライン

口の中や手足に水疱性の発疹(ブツブツ)が出る感染症。あまり高熱にはならないけれど、まれに重症化することがあるので注意が必要。

流行の中心は乳幼児、特に多いのは1歳前後。手足口病のウイルスは、症状が落ち着いてもしばらくは便と一緒に排泄されるので、おむつ交換後の手洗いは特にていねいに！

「学校において予防すべき感染症の解説」では、登校・登園は「本人の全身状態が安定していれば可」となっています。心配な場合は、かかりつけ医に相談してみてください。

